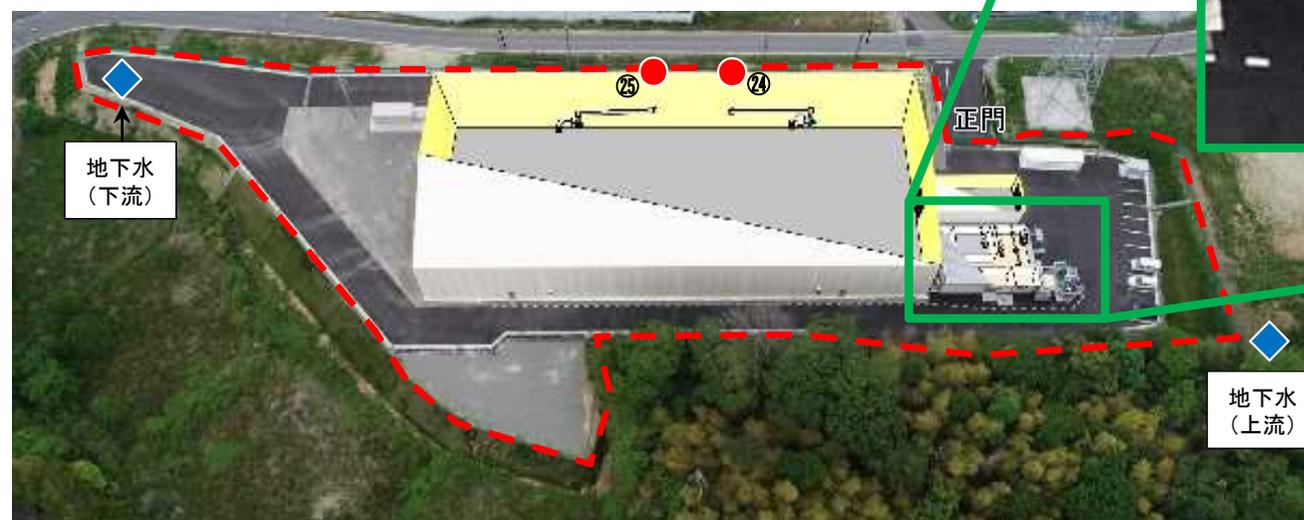
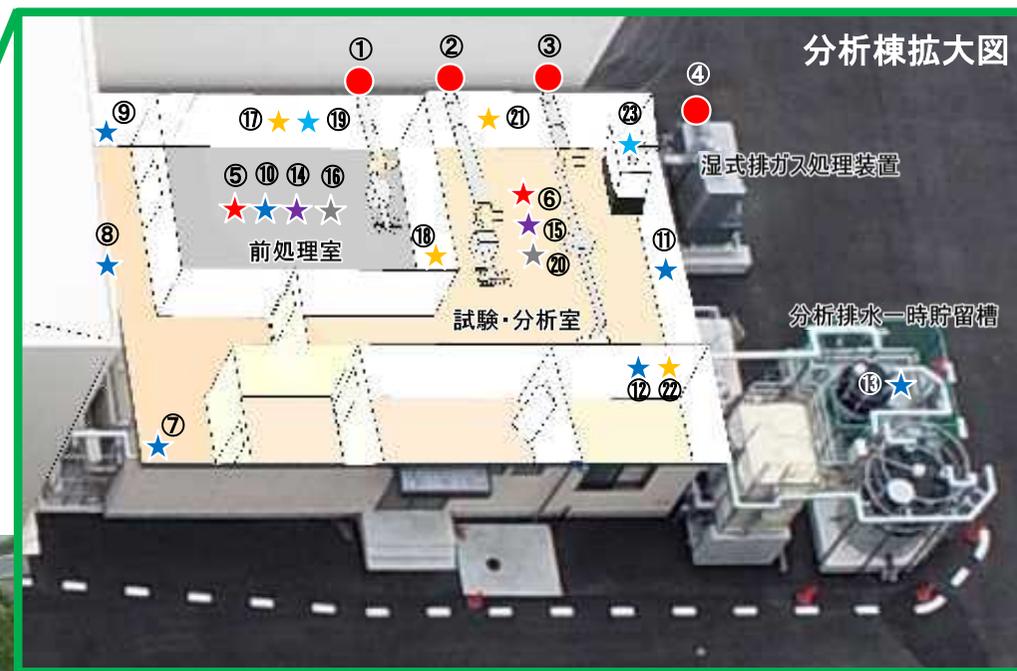


# 飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定地点（月次測定）



☆：施設の位置



## 【凡例】

- ◆：地下水中の放射能濃度等
- ：排気中の放射能濃度
- ★：粉じん濃度
- ★：空間線量率(作業環境)
- ★：空気中の放射能濃度
- ★：表面汚染密度(床)
- ★：表面汚染密度(壁)
- ★：表面汚染密度(設備)
-

# 飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2023年3月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	14
	2023/3/2	(稼働後)	13
下流	2021/7/21	(稼働前)	12
	2023/3/2	(稼働後)	14

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	13
	2023/3/2	(稼働後)	13
下流	2021/7/21	(稼働前)	7.0
	2023/3/2	(稼働後)	7.4

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
			(Bq/L)	(Bq/L)
上流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2023/3/2	(稼働後)	ND	ND
下流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2023/3/2	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134	Cs-137
		測定日		(Bq/m <sup>3</sup> N)	(Bq/m <sup>3</sup> N)
①前処理室	円盤ろ紙	2023/3/6	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/3/6	(稼働後)	ND	ND
②試験・分析室	円盤ろ紙	2023/3/6	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/3/6	(稼働後)	ND	ND
③ICP分析装置	円盤ろ紙	2023/3/6	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/3/6	(稼働後)	ND	ND
④湿式スクラパー	円盤ろ紙	2023/3/7	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/3/7	(稼働後)	ND	ND
④実証棟集じん機南	円盤ろ紙	2023/3/7	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/3/7	(稼働後)	ND	ND
⑤実証棟集じん機北	円盤ろ紙	2023/3/7	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/3/7	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
⑤前処理室	2023/3/7	(稼働後)	ND
⑥試験・分析室	2023/3/7	(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

NDとは定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率
			(μSv/h)
スクリーニング室	⑦西	2023/3/6 (稼働後)	0.20
前室	⑧北	2023/3/6 (稼働後)	0.16
	⑨東	2023/3/6 (稼働後)	0.13
前処理室	⑩中央	2023/3/6 (稼働後)	0.23
試験・分析室	⑪南	2023/3/6 (稼働後)	0.13
	⑫西	2023/3/6 (稼働後)	0.18
分析排水一時貯留槽	⑬表面	2023/3/6 (稼働後)	0.18

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
			(Bq/cm <sup>3</sup> )	(Bq/cm <sup>3</sup> )
④前処理室	2023/3/6	(稼働後)	ND	ND
⑤試験・分析室	2023/3/6	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≤1

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目	表面汚染密度	
			(Bq/cm <sup>2</sup> )	
前処理室	床	⑭中央	2023/3/6 (稼働後)	ND
		⑮東	2023/3/6 (稼働後)	ND
		⑯西	2023/3/6 (稼働後)	ND
	設備	⑰ヒュームフード	2023/3/6 (稼働後)	ND
試験・分析室	床	⑱中央	2023/3/6 (稼働後)	ND
		⑲東	2023/3/6 (稼働後)	ND
		⑲西	2023/3/6 (稼働後)	ND
	設備	⑳ドラフトチャンバー	2023/3/6 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.20 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2023年2月

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	14
	2023/2/2	(稼働後)	14
下流	2021/7/21	(稼働前)	12
	2023/2/2	(稼働後)	14

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	13
	2023/2/2	(稼働後)	14
下流	2021/7/21	(稼働前)	7.0
	2023/2/2	(稼働後)	7.6

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
			(Bq/L)	(Bq/L)
上流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2023/2/2	(稼働後)	ND	ND
下流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2023/2/2	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134	Cs-137
		測定日		(Bq/m <sup>3</sup> N)	(Bq/m <sup>3</sup> N)
①前処理室	円盤ろ紙	2023/2/6	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/2/6	(稼働後)	ND	ND
②試験・分析室	円盤ろ紙	2023/2/6	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/2/6	(稼働後)	ND	ND
③ICP分析装置	円盤ろ紙	2023/2/6	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/2/6	(稼働後)	ND	ND
④湿式スクラバー	円盤ろ紙	2023/2/7	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/2/7	(稼働後)	ND	ND
④実証棟集じん機南	円盤ろ紙	2023/2/7	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/2/7	(稼働後)	ND	ND
⑤実証棟集じん機北	円盤ろ紙	2023/2/7	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/2/7	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ★ 粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
⑤前処理室	2023/2/7	(稼働後)	ND
⑥試験・分析室	2023/2/7	(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

NDとは定量下限値未満であることを示す。

## ★ 空間線量率（作業環境）

測定地点	測定日	測定項目	空間線量率
			(μSv/h)
スクリーニング室	⑦西	2023/2/6 (稼働後)	0.19
前室	⑧北	2023/2/6 (稼働後)	0.14
	⑨東	2023/2/6 (稼働後)	0.13
前処理室	⑩中央	2023/2/6 (稼働後)	0.22
試験・分析室	⑪南	2023/2/6 (稼働後)	0.11
	⑫西	2023/2/6 (稼働後)	0.08
分析排水一時貯留槽	⑬表面	2023/2/6 (稼働後)	0.21

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	Cs-134	Cs-137
			(Bq/cm <sup>3</sup> )	(Bq/cm <sup>3</sup> )
④前処理室	2023/2/6	(稼働後)	ND	ND
⑤試験・分析室	2023/2/6	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定日	測定項目	表面汚染密度	
			(Bq/cm <sup>2</sup> )	
前処理室	床	⑩中央	2023/2/6 (稼働後)	ND
	壁	⑪東	2023/2/6 (稼働後)	ND
		⑫西	2023/2/6 (稼働後)	ND
	設備	⑭ヒュームフード	2023/2/6 (稼働後)	ND
試験・分析室	床	⑩中央	2023/2/6 (稼働後)	ND
	壁	⑪東	2023/2/6 (稼働後)	ND
		⑫西	2023/2/6 (稼働後)	ND
	設備	⑮ドラフトチャンバー	2023/2/6 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.20 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2023年1月

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	14
	2023/1/10	(稼働後)	
下流	2021/7/21	(稼働前)	12
	2023/1/10	(稼働後)	

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	13
	2023/1/10	(稼働後)	
下流	2021/7/21	(稼働前)	7.0
	2023/1/10	(稼働後)	

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2023/1/10	(稼働後)		
下流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2023/1/10	(稼働後)		

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m <sup>3</sup> N)	Cs-137 (Bq/m <sup>3</sup> N)
		測定日			
①前処理室	円盤ろ紙	2023/1/11	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/1/11	(稼働後)		
②試験・分析室	円盤ろ紙	2023/1/11	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/1/11	(稼働後)		
③ICP分析装置	円盤ろ紙	2023/1/11	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/1/11	(稼働後)		
④湿式スクラバー	円盤ろ紙	2023/1/10	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/1/10	(稼働後)		
④実証棟集じん機南	円盤ろ紙	2023/1/10	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/1/10	(稼働後)		
⑤実証棟集じん機北	円盤ろ紙	2023/1/10	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2023/1/10	(稼働後)		

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ★ 粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
⑤前処理室	2023/1/11	(稼働後)	ND
⑥試験・分析室	2023/1/11	(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

NDとは定量下限値未満であることを示す。

## ★ 空間線量率（作業環境）

測定地点		測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日			
スクリーニング室	⑦西	2023/1/11	(稼働後)	0.18
前室	⑧北	2023/1/11	(稼働後)	0.14
	⑨東	2023/1/11	(稼働後)	0.12
前処理室	⑩中央	2023/1/11	(稼働後)	0.17
試験・分析室	⑪南	2023/1/11	(稼働後)	0.12
	⑫西	2023/1/11	(稼働後)	0.11
分析排水一時貯留槽	⑬表面	2023/1/11	(稼働後)	0.20

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	測定日			
⑭前処理室	2023/1/11	(稼働後)	ND	ND
⑮試験・分析室	2023/1/11	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

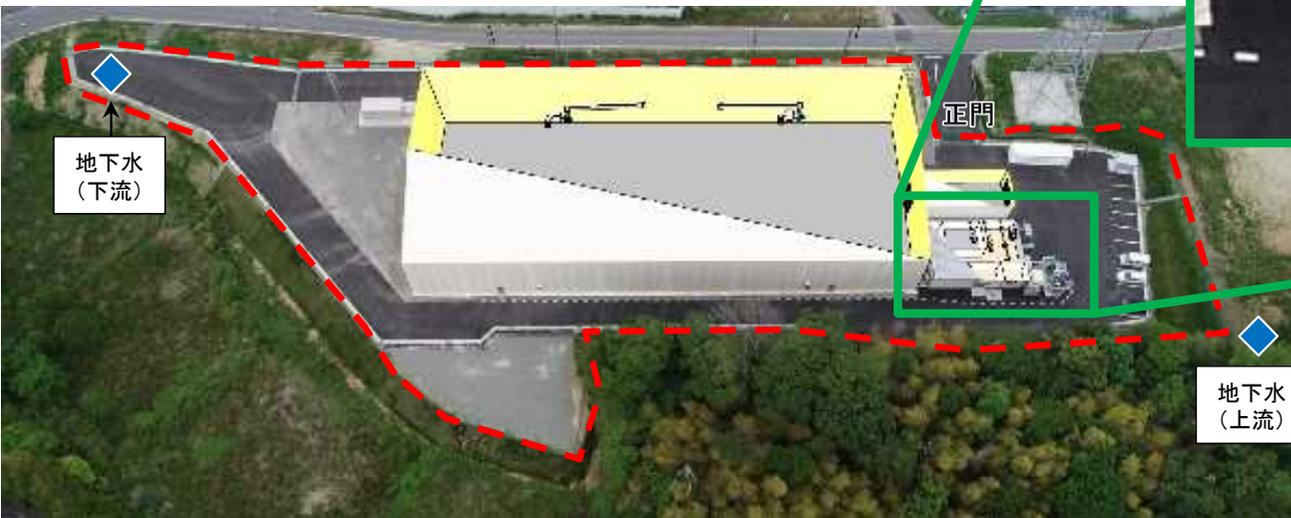
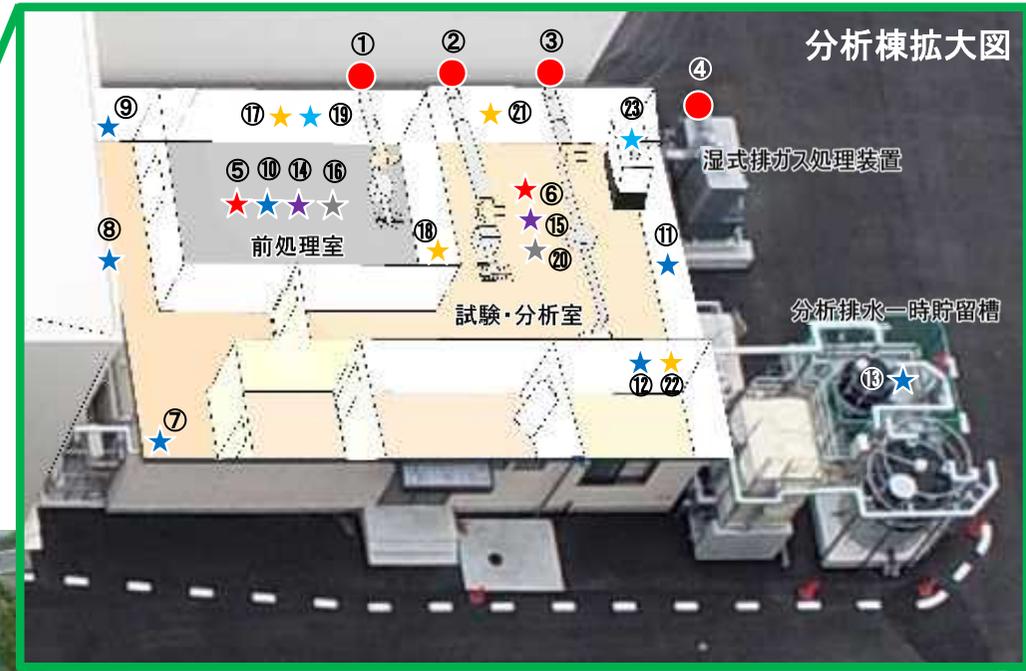
測定地点		測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
	測定日			
前処理室	床	⑯中央	2023/1/11 (稼働後)	ND
	壁	⑰東	2023/1/11 (稼働後)	ND
		⑱西	2023/1/11 (稼働後)	ND
	設備	⑲ヒュームフード	2023/1/11 (稼働後)	ND
試験・分析室	床	⑳中央	2023/1/11 (稼働後)	ND
	壁	㉑東	2023/1/11 (稼働後)	ND
		㉒西	2023/1/11 (稼働後)	ND
	設備	㉓ドラフトチャンバー	2023/1/11 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定地点（月次測定）2022年4月～12月



☆：施設の位置



## 【凡例】

- |               |              |             |
|---------------|--------------|-------------|
| ◆：地下水中の放射能濃度等 | ●：排気中の放射能濃度  | ★：粉じん濃度     |
| ★：空間線量率(作業環境) | ★：空気中の放射能濃度  | ★：表面汚染密度(床) |
| ★：表面汚染密度(壁)   | ★：表面汚染密度(設備) | ---         |
|               |              | ---：敷地境界線   |

# 飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年12月

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	14
	2022/12/6	(稼働後)	14
下流	2021/7/21	(稼働前)	12
	2022/12/6	(稼働後)	14

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	13
	2022/12/6	(稼働後)	15
下流	2021/7/21	(稼働前)	7.0
	2022/12/6	(稼働後)	7.9

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2022/12/6	(稼働後)	ND	ND
下流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2022/12/6	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m <sup>3</sup> N)	Cs-137 (Bq/m <sup>3</sup> N)
		測定日			
①前処理室	円盤ろ紙	2022/12/6	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/12/6	(稼働後)	ND	ND
②試験・分析室	円盤ろ紙	2022/12/6	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/12/6	(稼働後)	ND	ND
③ICP分析装置	円盤ろ紙	2022/12/5	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/12/5	(稼働後)	ND	ND
④湿式スクラバー	円盤ろ紙	2022/12/5	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/12/5	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ★ 粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
⑤前処理室	2022/12/6	(稼働後)	ND
⑥試験・分析室	2022/12/6	(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

NDとは定量下限値未満であることを示す。

## ★ 空間線量率（作業環境）

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
スクリーニング室	㉗西	2022/12/6 (稼働後)	0.20
前室	㉘北	2022/12/6 (稼働後)	0.16
	㉙東	2022/12/6 (稼働後)	0.12
前処理室	㉚中央	2022/12/6 (稼働後)	0.21
試験・分析室	㉛南	2022/12/6 (稼働後)	0.13
	㉜西	2022/12/6 (稼働後)	0.12
分析排水一時貯留槽	㉝表面	2022/12/6 (稼働後)	0.22

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	測定日			
④前処理室	2022/12/6	(稼働後)	ND	ND
⑤試験・分析室	2022/12/6	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≤1

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
	測定日			
前処理室	床	㉚中央	2022/12/6 (稼働後)	ND
	壁	㉗東	2022/12/6 (稼働後)	ND
		㉘西	2022/12/6 (稼働後)	ND
	設備	㉙セシウムフード	2022/12/6 (稼働後)	ND
試験・分析室	床	㉚中央	2022/12/6 (稼働後)	ND
	壁	㉗東	2022/12/6 (稼働後)	ND
		㉘西	2022/12/6 (稼働後)	ND
	設備	㉙ドラフトチャンバー	2022/12/6 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年11月

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2021/7/21 (稼働前)		14
	2022/11/8 (稼働後)		14
下流	2021/7/21 (稼働前)		12
	2022/11/8 (稼働後)		13

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2021/7/21 (稼働前)		13
	2022/11/8 (稼働後)		13
下流	2021/7/21 (稼働前)		7.0
	2022/11/8 (稼働後)		7.0

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2021/7/21 (稼働前)		ND	ND
	2022/11/8 (稼働後)		ND	ND
下流	2021/7/21 (稼働前)		ND	ND
	2022/11/8 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m <sup>3</sup> N)	Cs-137 (Bq/m <sup>3</sup> N)
		測定日			
①前処理室	円盤ろ紙	2022/11/10 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2022/11/10 (稼働後)		ND	ND
②試験・分析室	円盤ろ紙	2022/11/10 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2022/11/10 (稼働後)		ND	ND
③ICP分析装置	円盤ろ紙	2022/11/11 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2022/11/11 (稼働後)		ND	ND
④湿式スクラバー	円盤ろ紙	2022/11/11 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2022/11/11 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ★ 粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
⑤前処理室	2022/11/11 (稼働後)		ND
⑥試験・分析室	2022/11/11 (稼働後)		0.2

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

NDとは定量下限値未満であることを示す。

## ★ 空間線量率（作業環境）

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
スクリーニング室	⑦西	2022/11/10 (稼働後)	0.18
前室	⑧北	2022/11/10 (稼働後)	0.13
	⑨東	2022/11/10 (稼働後)	0.13
前処理室	⑩中央	2022/11/10 (稼働後)	0.21
試験・分析室	⑪南	2022/11/10 (稼働後)	0.13
	⑫西	2022/11/10 (稼働後)	0.11
分析排水一時貯留槽	⑬表面	2022/11/10 (稼働後)	0.20

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	測定日			
⑭前処理室	2022/11/10 (稼働後)		ND	ND
⑮試験・分析室	2022/11/10 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
	測定日			
前処理室	床	⑯中央	2022/11/10 (稼働後)	ND
	壁	⑰東	2022/11/10 (稼働後)	ND
		⑰西	2022/11/10 (稼働後)	ND
	設備	⑱ヒュームフード	2022/11/10 (稼働後)	ND
試験・分析室	床	⑳中央	2022/11/10 (稼働後)	ND
	壁	㉑東	2022/11/10 (稼働後)	ND
		㉑西	2022/11/10 (稼働後)	ND
	設備	㉒ドラフトチャンバー	2022/11/10 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年10月

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2021/7/21 (稼働前)		14
	2022/10/12 (稼働後)		14
下流	2021/7/21 (稼働前)		12
	2022/10/12 (稼働後)		14

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2021/7/21 (稼働前)		13
	2022/10/12 (稼働後)		15
下流	2021/7/21 (稼働前)		7.0
	2022/10/12 (稼働後)		7.6

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2021/7/21 (稼働前)		ND	ND
	2022/10/12 (稼働後)		ND	ND
下流	2021/7/21 (稼働前)		ND	ND
	2022/10/12 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m <sup>3</sup> N)	Cs-137 (Bq/m <sup>3</sup> N)
		測定日			
①前処理室	円盤ろ紙	2022/10/11 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2022/10/11 (稼働後)		ND	ND
②試験・分析室	円盤ろ紙	2022/10/11 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2022/10/11 (稼働後)		ND	ND
③ICP分析装置	円盤ろ紙	2022/10/12 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2022/10/12 (稼働後)		ND	ND
④湿式スクラバー	円盤ろ紙	2022/10/12 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2022/10/12 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ★ 粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
⑤前処理室	2022/10/12 (稼働後)		ND
⑥試験・分析室	2022/10/12 (稼働後)		0.2

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

NDとは定量下限値未満であることを示す。

## ★ 空間線量率（作業環境）

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
スクリーニング室	⑦西	2022/10/11 (稼働後)	0.20
前室	⑧北	2022/10/11 (稼働後)	0.13
	⑨東	2022/10/11 (稼働後)	0.12
前処理室	⑩中央	2022/10/11 (稼働後)	0.18
試験・分析室	⑪南	2022/10/11 (稼働後)	0.13
	⑫西	2022/10/11 (稼働後)	0.12
分析排水一時貯留槽	⑬表面	2022/10/11 (稼働後)	0.20

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	測定日			
⑭前処理室	2022/10/11 (稼働後)		ND	ND
⑮試験・分析室	2022/10/11 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
	測定日			
前処理室	床	⑯中央	2022/10/11 (稼働後)	ND
	壁	⑰東	2022/10/11 (稼働後)	ND
		⑱西	2022/10/11 (稼働後)	ND
	設備	⑲ヒュームフード	2022/10/11 (稼働後)	ND
試験・分析室	床	⑳中央	2022/10/11 (稼働後)	ND
	壁	㉑東	2022/10/11 (稼働後)	ND
		㉒西	2022/10/11 (稼働後)	ND
	設備	㉓ドラフトチャンバー	2022/10/11 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年9月

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2021/7/21 (稼働前)		14
	2022/9/8 (稼働後)		13
下流	2021/7/21 (稼働前)		12
	2022/9/8 (稼働後)		12

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2021/7/21 (稼働前)		13
	2022/9/8 (稼働後)		15
下流	2021/7/21 (稼働前)		7.0
	2022/9/8 (稼働後)		8.2

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2021/7/21 (稼働前)		ND	ND
	2022/9/8 (稼働後)		ND	ND
下流	2021/7/21 (稼働前)		ND	ND
	2022/9/8 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m <sup>3</sup> N)	Cs-137 (Bq/m <sup>3</sup> N)
		測定日			
①前処理室	円盤ろ紙	2022/9/12 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2022/9/12 (稼働後)		ND	ND
②試験・分析室	円盤ろ紙	2022/9/12 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2022/9/12 (稼働後)		ND	ND
③ICP分析装置	円盤ろ紙	2022/9/13 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2022/9/13 (稼働後)		ND	ND
④湿式スクラバー	円盤ろ紙	2022/9/13 (稼働後)		ND	ND
	ドレン部	2022/9/13 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ★ 粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
⑤前処理室	2022/9/13 (稼働後)		0.7
⑥試験・分析室	2022/9/13 (稼働後)		0.2

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★ 空間線量率（作業環境）

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
スクリーニング室	㉚西	2022/9/12 (稼働後)	0.21
前室	㉛北	2022/9/12 (稼働後)	0.14
	㉜東	2022/9/12 (稼働後)	0.13
前処理室	㉞中央	2022/9/12 (稼働後)	0.20
試験・分析室	㉟南	2022/9/12 (稼働後)	0.13
	㊱西	2022/9/12 (稼働後)	0.12
分析排水一時貯留槽	㊲表面	2022/9/12 (稼働後)	0.21

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	測定日			
④前処理室	2022/9/12 (稼働後)		ND	ND
⑤試験・分析室	2022/9/12 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
	測定日			
前処理室	床	㉞中央	2022/9/12 (稼働後)	ND
	壁	㉟東	2022/9/12 (稼働後)	ND
		㊱西	2022/9/12 (稼働後)	ND
	設備	㉟ヒュームフード	2022/9/12 (稼働後)	ND
試験・分析室	床	㉞中央	2022/9/12 (稼働後)	ND
	壁	㉟東	2022/9/12 (稼働後)	ND
		㊱西	2022/9/12 (稼働後)	ND
	設備	㉟ドラフトチャンバー	2022/9/12 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.21 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年8月

## ◆地下水（井戸）中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	14
	2022/8/4	(稼働後)	12
下流	2021/7/21	(稼働前)	12
	2022/8/4	(稼働後)	11

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	13
	2022/8/4	(稼働後)	13
下流	2021/7/21	(稼働前)	7.0
	2022/8/4	(稼働後)	6.9

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2022/8/4	(稼働後)	ND	ND
下流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2022/8/4	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m <sup>3</sup> N)	Cs-137 (Bq/m <sup>3</sup> N)
		測定日			
①前処理室	円盤ろ紙	2022/8/8	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/8/8	(稼働後)	ND	ND
②試験・分析室	円盤ろ紙	2022/8/8	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/8/8	(稼働後)	ND	ND
③ICP分析装置	円盤ろ紙	2022/8/9	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/8/9	(稼働後)	ND	ND
④湿式スクラバー	円盤ろ紙	2022/8/9	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/8/9	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
⑤前処理室	2022/8/9	(稼働後)	ND
⑥試験・分析室	2022/8/9	(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

NDとは定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
スクリーニング室	㉞西	2022/8/8 (稼働後)	0.20
前室	㉞北	2022/8/8 (稼働後)	0.13
	㉞東	2022/8/8 (稼働後)	0.12
前処理室	㉞中央	2022/8/8 (稼働後)	0.22
試験・分析室	㉞南	2022/8/8 (稼働後)	0.12
	㉞西	2022/8/8 (稼働後)	0.12
分析排水一時貯留槽	㉞表面	2022/8/8 (稼働後)	0.23

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	測定日			
⑭前処理室	2022/8/8	(稼働後)	ND	ND
⑮試験・分析室	2022/8/8	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
	測定日			
前処理室	床	㉞中央	2022/8/8 (稼働後)	ND
	壁	㉞東	2022/8/8 (稼働後)	ND
		㉞西	2022/8/8 (稼働後)	ND
	設備	㉞ヒュームフード	2022/8/8 (稼働後)	ND
試験・分析室	床	㉞中央	2022/8/8 (稼働後)	ND
	壁	㉞東	2022/8/8 (稼働後)	ND
		㉞西	2022/8/8 (稼働後)	ND
	設備	㉞ドラフトチャンバー	2022/8/8 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.16 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年7月

## ◆ 地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	14
	2022/7/7	(稼働後)	13
下流	2021/7/21	(稼働前)	12
	2022/7/7	(稼働後)	12

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	13
	2022/7/7	(稼働後)	13
下流	2021/7/21	(稼働前)	7.0
	2022/7/7	(稼働後)	7.3

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2022/7/7	(稼働後)	ND	ND
下流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2022/7/7	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ● 排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m <sup>3</sup> N)	Cs-137 (Bq/m <sup>3</sup> N)
		測定日			
①前処理室	円盤ろ紙	2022/7/11	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/7/11	(稼働後)	ND	ND
②試験・分析室	円盤ろ紙	2022/7/11	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/7/11	(稼働後)	ND	ND
③ICP分析装置	円盤ろ紙	2022/7/12	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/7/12	(稼働後)	ND	ND
④湿式スクラバー	円盤ろ紙	2022/7/12	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/7/12	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ★ 粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
⑤前処理室	2022/7/12	(稼働後)	0.3
⑥試験・分析室	2022/7/12	(稼働後)	0.2

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

## ★ 空間線量率（作業環境）

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
スクリーニング室	⑦西	2022/7/11 (稼働後)	0.21
前室	⑧北	2022/7/11 (稼働後)	0.13
	⑨東	2022/7/11 (稼働後)	0.12
前処理室	⑩中央	2022/7/11 (稼働後)	0.21
試験・分析室	⑪南	2022/7/11 (稼働後)	0.14
	⑫西	2022/7/11 (稼働後)	0.12
分析排水一時貯留槽	⑬表面	2022/7/11 (稼働後)	0.22

## ★ 空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	測定日			
⑭前処理室	2022/7/11	(稼働後)	ND	ND
⑮試験・分析室	2022/7/11	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
	測定日			
前処理室	床	⑯中央	2022/7/11 (稼働後)	ND
	壁	⑰東	2022/7/11 (稼働後)	ND
		⑱西	2022/7/11 (稼働後)	ND
	設備	⑲ヒュームフード	2022/7/11 (稼働後)	ND
試験・分析室	床	⑳中央	2022/7/11 (稼働後)	ND
	壁	㉑東	2022/7/11 (稼働後)	ND
		㉒西	2022/7/11 (稼働後)	ND
	設備	㉓ドラフトチャンバー	2022/7/11 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.17 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年6月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	14
	2022/6/7	(稼働後)	12
下流	2021/7/21	(稼働前)	12
	2022/6/7	(稼働後)	12

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	13
	2022/6/7	(稼働後)	14
下流	2021/7/21	(稼働前)	7.0
	2022/6/7	(稼働後)	7.5

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2022/6/7	(稼働後)	ND	ND
下流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2022/6/7	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m <sup>3</sup> N)	Cs-137 (Bq/m <sup>3</sup> N)
		測定日			
①前処理室	円盤ろ紙	2022/6/10	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/6/10	(稼働後)	ND	ND
②試験・分析室	円盤ろ紙	2022/6/10	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/6/10	(稼働後)	ND	ND
③ICP分析装置	円盤ろ紙	2022/6/9	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/6/9	(稼働後)	ND	ND
④湿式スクラバー	円盤ろ紙	2022/6/9	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/6/9	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
⑤前処理室	2022/6/9	(稼働後)	ND
⑥試験・分析室	2022/6/9	(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

NDとは定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
スクリーニング室	⑦西	2022/6/10 (稼働後)	0.20
前室	⑧北	2022/6/10 (稼働後)	0.12
	⑨東	2022/6/10 (稼働後)	0.13
前処理室	⑩中央	2022/6/10 (稼働後)	0.21
試験・分析室	⑪南	2022/6/10 (稼働後)	0.12
	⑫西	2022/6/10 (稼働後)	0.13
分析排水一時貯留槽	⑬表面	2022/6/10 (稼働後)	0.22

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	測定日			
⑭前処理室	2022/6/10	(稼働後)	ND	ND
⑮試験・分析室	2022/6/10	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
	測定日			
前処理室	床	⑯中央	2022/6/10 (稼働後)	ND
	壁	⑰東	2022/6/10 (稼働後)	ND
		⑰西	2022/6/10 (稼働後)	ND
	設備	⑱ヒュームフード	2022/6/10 (稼働後)	ND
試験・分析室	床	⑳中央	2022/6/10 (稼働後)	ND
	壁	㉑東	2022/6/10 (稼働後)	ND
		㉑西	2022/6/10 (稼働後)	ND
	設備	㉒ドラフトチャンバー	2022/6/10 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.16 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年5月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	14
	2022/5/19	(稼働後)	13
下流	2021/7/21	(稼働前)	12
	2022/5/19	(稼働後)	13

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	13
	2022/5/19	(稼働後)	14
下流	2021/7/21	(稼働前)	7.0
	2022/5/19	(稼働後)	7.2

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2022/5/19	(稼働後)	ND	ND
下流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2022/5/19	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m <sup>3</sup> N)	Cs-137 (Bq/m <sup>3</sup> N)
		測定日			
①前処理室	円盤ろ紙	2022/5/19	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/5/19	(稼働後)	ND	ND
②試験・分析室	円盤ろ紙	2022/5/19	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/5/19	(稼働後)	ND	ND
③ICP分析装置	円盤ろ紙	2022/5/20	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/5/20	(稼働後)	ND	ND
④湿式スクラバー	円盤ろ紙	2022/5/20	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/5/20	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
⑤前処理室	2022/5/20	(稼働後)	ND
⑥試験・分析室	2022/5/20	(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

NDとは定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
スクリーニング室	⑦西	2022/5/19 (稼働後)	0.20
前室	⑧北	2022/5/19 (稼働後)	0.12
	⑨東	2022/5/19 (稼働後)	0.10
前処理室	⑩中央	2022/5/19 (稼働後)	0.23
試験・分析室	⑪南	2022/5/19 (稼働後)	0.12
	⑫西	2022/5/19 (稼働後)	0.09
分析排水一時貯留槽	⑬表面	2022/5/19 (稼働後)	0.20

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	測定日			
⑭前処理室	2022/5/19	(稼働後)	ND	ND
⑮試験・分析室	2022/5/19	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
	測定日			
前処理室	床	⑯中央	2022/5/19 (稼働後)	ND
	壁	⑰東	2022/5/19 (稼働後)	ND
		⑱西	2022/5/19 (稼働後)	ND
	設備	⑲ヒュームフード	2022/5/19 (稼働後)	ND
試験・分析室	床	⑳中央	2022/5/19 (稼働後)	ND
	壁	㉑東	2022/5/19 (稼働後)	ND
		㉒西	2022/5/19 (稼働後)	ND
	設備	㉓ドラフトチャンバー	2022/5/19 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.17 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 飛灰洗浄処理技術等実証施設における 周辺環境及び作業環境測定結果（月次測定）2022年4月

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	14
	2022/4/13	(稼働後)	12
下流	2021/7/21	(稼働前)	12
	2022/4/13	(稼働後)	12

測定地点	測定項目		塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2021/7/21	(稼働前)	13
	2022/4/13	(稼働後)	13
下流	2021/7/21	(稼働前)	7.0
	2022/4/13	(稼働後)	7.4

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	測定日			
上流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2022/4/13	(稼働後)	ND	ND
下流	2021/7/21	(稼働前)	ND	ND
	2022/4/13	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	測定項目		Cs-134 (Bq/m <sup>3</sup> N)	Cs-137 (Bq/m <sup>3</sup> N)
		測定日			
①前処理室	円盤ろ紙	2022/4/26	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/4/26	(稼働後)	ND	ND
②試験・分析室	円盤ろ紙	2022/4/26	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/4/26	(稼働後)	ND	ND
③ICP分析装置	円盤ろ紙	2022/4/26	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/4/26	(稼働後)	ND	ND
④湿式スクラパー	円盤ろ紙	2022/4/27	(稼働後)	ND	ND
	ドレン部	2022/4/27	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値（ろ紙部）：セシウム134：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：0.5 Bq/m<sup>3</sup>N

放射能濃度検出下限値（ドレン部）：セシウム134：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N、セシウム137：1.0 Bq/m<sup>3</sup>N

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目		粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
	測定日		
⑤前処理室	2022/4/27	(稼働後)	ND
⑥試験・分析室	2022/4/27	(稼働後)	ND

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

NDとは定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	測定項目		空間線量率 (μSv/h)
	測定日		
スクリーニング室	⑦西	2022/4/27 (稼働後)	0.20
前室	⑧北	2022/4/27 (稼働後)	0.13
	⑨東	2022/4/27 (稼働後)	0.11
前処理室	⑩中央	2022/4/27 (稼働後)	0.23
試験・分析室	⑪南	2022/4/27 (稼働後)	0.13
	⑫西	2022/4/27 (稼働後)	0.21
分析排水一時貯留槽	⑬表面	2022/4/27 (稼働後)	0.24

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	測定項目		Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	測定日			
⑭前処理室	2022/4/27	(稼働後)	ND	ND
⑮試験・分析室	2022/4/27	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：1.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点	測定項目		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
	測定日			
前処理室	床	⑯中央	2022/4/27 (稼働後)	ND
	壁	⑰東	2022/4/27 (稼働後)	ND
		⑱西	2022/4/27 (稼働後)	ND
	設備	⑲ヒュームフード	2022/4/27 (稼働後)	ND
試験・分析室	床	⑳中央	2022/4/27 (稼働後)	ND
	壁	㉑東	2022/4/27 (稼働後)	ND
		㉒西	2022/4/27 (稼働後)	ND
	設備	㉓ドラフトチャンパー	2022/4/27 (稼働後)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.17 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>